

D-STAR入門

JA3VAP 水島 章広

1-1 D-STARとは

D-STAR (コラム参照)は、JARLが開発推進しているアマチュア無線のデジタル通信規格の一つです。豊富な機能を持ち、レピータやインターネットを介して遠方への中継を可能とするネットワークを使えます。本章では、これからD-STARを始めてみようという方を対象に、D-STARのしくみや無線機の設定方法などを説明します。

■ D-STARの生い立ち

1998年、当時の郵政省から「アマチュア無線のためのデジタル化技術に関する調査検討」の公募がありました。

当時は全国にレピータが普及し、さらなる展開が考えられたことと、プロの通信分野で着々とデジタル化が計画・実現化され、アマチュア無線もデジタル化の課題に取り組む必要があると考えられていたことが背景だったのでしょう。

この公募にJARLが応え、JAIAの協力を得ながらアマチュア無線に適したデジタル通信について変調方式や伝送形式などの研究と実験が2000年度まで重ねられてきました。

この成果を受け、JARL技術委員会のなかにあった次世代通信分科会が実用化に向けてJAIAの協力のもと実験を続けました。

2003年には総務省でアマチュア無線のデジタル化を踏まえた法規の変更がなされ、JARLでは次世代通信分科会が次世代通信委員会となりD-STAR運用ガイドライン(p.71参照)の制定など制度面での整備が進められました。

そして2004年にアイコムから初のD-STARトランシーバが発売され、あわせて関東・東海・関西の各地にJARLによるD-STARレピータが設置されました。

このようにD-STARは、もともと郵政省(当時)のデジタル化調査の公募に端を発し、JARLとJAIAの協力体制のもと実現に至った経緯があり、現在もJARL主導のもとで普及促進されています。

JARL … Japan Amateur Radio League : 日本アマチュア無線連盟

JAIA … Japan Amateur Industries Association : 日本アマチュア無線機器工業会